

おひさま ニュース

2018
春 号

4月15日発行



ホームページ

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地 TEL:0470-25-5111 <http://www.awairyo.jp/>

発行責任者：福内正義 編集責任者：根本達也

院長 就任のご挨拶

院長 福内正義



2018年4月1日より社会福祉法人太陽会安房地域医療センター院長に就任しました福内正義と申します。この場をお借りして、ご挨拶と自己紹介をいたします。

1996年に昭和大学医学部を卒業後、昭和大学整形外科学教室へ入局いたしました。その後医局の関連病院である昭和大学病院、昭和大学横浜市北部病院、太田西の内病院等で勤務後2004年7月より亀田総合病院整形外科に赴任いたしました。

当院へは2010年10月より整形外科部長として赴任、2015年10月からは副院長に就任いたしました。このたび水谷正彦前院長の退任にともない院長に就任する運びとなりました。微力ではありますが今後も安房地域のみなさまに安心で最適な医療をとどけられるようにまい進していく所存ですので、何卒よろしくお願いいたします。

さて、当院はこの4月で開設10年が過ぎました。この間救急棟建設や初期研修医の受け入れ開始、太陽会の事業としては、安房医療福祉専門学校の開校等がありました。昨年4月に安房医療福祉専門学校の一期生が入職し、今年度も二期生30名あまりが入職しました。

看護師不足が深刻な昨今において毎年新入職の看護師をむかえることができるのはとてもよろこばしいことです。これにより昨年度開始した7対1看護も看護師数の増加にともない継続していく予定です。

診療部も体制が大きく変わり、メディカルディレクターとして整形外科の下地尚医師、総合診療科部長として難波雄亮医師、救急センター長として藤江聡医師が着任いたしました。循環器科も3名の常勤医が着任したことにより、心臓血管の疾患に対して十分な診療体制がとれるようになります。また昨年度からは麻酔科、形成外科、外科の新任常勤医をそれぞれむかえて新体制が整いつつあります。

超高齢社会をむかえつつある日本においても安房地域はとくに高齢化率が進んでおります。高齢になると常に病気やけがの心配があると思います。その中で当院では365日24時間の救急体制をとり地域のみなさまに安心を与え続けることができるように努めます。

また、今後は、地域包括ケア病棟をふくむ新棟建設を目標にしています。これは、急性期治療のみでは不十分な患者さまに転床していただき、在宅復帰に向けた継続的な治療やリハビリテーションを行うことを目的としたもので、将来的には、医療から介護まで切れ目のないサービスの提供を目指しています。



診療科のご紹介	総合診療科	消化器科	循環器科	腎臓内科	糖尿病内分泌内科	神経内科
	小児科	リウマチ・膠原病・アレルギー内科	膠原病内科	呼吸器科	皮膚科	腫瘍内科
	外科	肛門科	整形外科	スポーツ整形	形成外科	乳腺科
	救急科	ペインクリニック	透析科	泌尿器科	甲状腺外来	リハビリテーション科

腫瘍内科

2010年4月より腫瘍内科外来が始まり、9年目を迎えることができました。直近4年間の外来診療数は2014年1,536人、2015年1,572人、2016年1,912人、2017年1,802人と推移しています。



頭頸部、食道、胃、肺、乳、大腸、尿路上皮、腎、前立腺などの固形腫瘍、本態性血小板減少症、骨髄異形成症候群、慢性骨髄性白血病などの血液疾患に対して外来診療(化学療法を含む)を行なっています。入院加療の適応と判断した際には亀田総合病院腫瘍内科および血液腫瘍内科に紹介しています。痛みのコントロールをはじめとする緩和ケアにも化学療法開始時から積極的にとり組んでおり、他地域への移動の負担を考え、安房地域内でがん患者さまのトータルケアを完結することを目指しています。当院の総合診療科、亀田ファミリークリニック館山、花の谷クリニック(千倉町)とも連携をとっていますが、今後は安房地域の先生方と更に連携を強めることができないかと模索しています。

近年の腫瘍学の話題として、免疫療法、プ

レシジョンメディスン、アンメットメディカルニーズがあります。当院は免疫療法で認可されているNivolumab、Pembrolizumabの認定施設となっています。プレシジョンメディスンの中心となる遺伝子変異に基づいた分子標的薬に関しても、現在認可されている全ての薬剤が処方可能となっています。今後は早期臨床試験への参加を希望される患者さまに関しては、がん研究センターに紹介する予定です。アンメットメディカルニーズの最たるものである希少がんの診療も行っており、必要に応じて適切な専門性の高い病院への紹介も行っています。肝腫瘍、肺結節、多発リンパ節腫大などのがんを疑う方、貧血、血小板低下、白血球低下などの血球異常、血栓、出血傾向をしめすような凝固異常なども診療いたします。

こやま たかふみ 小山隆文

出身地：大阪府
趣味：語学、教育、スポーツ全般
房総の好きなところ：
温暖な気候、温厚な土地柄、
温和なスタッフ



Awa-café project

MCIは正常の脳機能に戻る？～早期発見と早期支援～

リハビリテーション室
作業療法士 大瀬律子

認知症の中でも日本で約6割を占めるアルツハイマー型は、実は発症の20～30年前から異常タンパク質が脳に溜まり始め、症状のない段階から海馬を中心に脳の萎縮が進行していることが現在わかっています。その後、認知症の前段階である軽度認知障害(MCI)に進み、認知症へと発症していきます。MCIでは脳病変が随分進行し、認知症へ移行する危険性が高い一方で、MCIの中には正常の脳機能へと回復する者の存在が最近報告されています。現在の医学では認

知症の根本治癒はできません。その為、記憶力や注意力、実行・処理能力等の認知機能の低下はあるが、日常生活には大きな支障のないMCI期に本人や周囲が気付いて専門機関を受診し、脳を活性化する活動的な生活を送ることが大切です。



前号「正しい知識」、今号「軽度認知障害(MCI)」に続き、次号では「リスク因子とコグニサイズ」を紹介します。

胃がん検診

胃がん検診専門技師 鈴木一志
画像診断室室長



わたしたち診療放射線技師は、みなさまの町や会社に検診車でお邪魔して胃X線撮影を担当しています。今回は胃がん検診のなかの胃X線撮影についてお話しします。

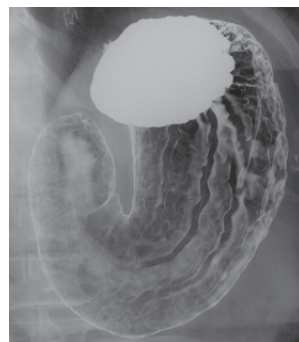
胃がんは、肺がん、大腸がんに次いで日本人に多いがんのうちの1つで、約95%が胃の中の粘膜面に発生します。胃がんが発生すると、粘膜の凹凸ができますので、この凹凸を観察できる内視鏡検査と胃X線検査が胃がん発見に有用な検査となります。

この検査のうち、わたしたち診療放射線技師が担当するのが、バリウムと発泡剤を用いた胃X線検査になります。バリウムは、『おいしくない』『飲みづらい』というご意見を多く耳にしますが、このバリウムが粘膜の凹凸を写し出すために非常に優れた薬剤となります。胃の中でバシャバシャと動かすことで、胃の中にへばりついている胃液を、強力な洗浄効果ではがして胃液に隠れていた凹凸をあらわにし、薄く均等に付着することで、微

細な凹凸も写し出します。発泡剤は、胃の中で炭酸ガスを発生させ、胃を膨らませます。『ゲップが我慢できない』という声をよく聞きますが、胃が萎んでいる状態では、粘膜の凹凸が観察できないため、できるだけ我慢をしていただいています。

胃がんは小さなうちに発見すれば、十分治せる病気といわれております。小さな胃がんは粘膜の凹凸も微細ですので、それを写し出すためにも、みなさまには検査前夜からの食止めを守っていただき、できるだけ検査当日の胃液を減らすことが大切になります。また、検査が開始しましたら、バリウムの特徴をいかにするために寝台でぐるぐる回っていただく必要があります。

美味しいものをいつまでも食べられる健康体でいられるよう、5分間だけちょっと我慢しようという気持ちで、1年に1回の胃がん検診に足を運んでいただきたいと強く願います。



バリウムと発泡剤を用いて写し出された正常な胃X線写真

2018年度の検診日程について

特定健診

	実施期間	
館山市	5月9日～6月13日	27日間
鴨川市	6月14日～7月2日	15日間
南房総市	8月21日～10月3日	26日間
鋸南町	10月11日～10月17日	6日間

乳がん検診

	実施期間
館山市	6月1日～2019年1月31日
鴨川市	6月1日～2019年1月31日
南房総市	6月1日～2019年1月31日
鋸南町	5月21日～2019年1月31日

子宮がん検診

	実施期間
館山市	6月1日～2019年2月28日
鴨川市	6月1日～2019年2月28日
南房総市	6月1日～2019年2月28日
鋸南町	6月1日～2019年2月28日

大腸がん検診

	実施期間	クーポンのみ実施期間
館山市	10月29日～11月9日	
鴨川市	11月19日～21日・11月26日～28日・12月3日	
南房総市	6月4日～6月7日・6月11日～13日・6月18日～19日 6月21日・6月25日・6月27日～28日・7月2日・7月4日	11月12日～11月30日
鋸南町	7月24日・7月25日・8月1日・8月2日	

骨粗鬆症検診

	実施期間
館山市	7月17日～7月19日
鴨川市	4月17日～4月19日
南房総市	10月11日～10月12日、10月16日～10月17日
鋸南町	7月12日



本年度も病気の予防、早期発見、早期治療を目的として地域住民のみなさまを対象に、5月から10月にかけて住民検診(特定健診)を実施いたします。

また、各種がん検診につきましても下記日程にて実施を予定していますので、詳細な日程、お申込み等につきましては、最寄の行政機関へお問合せ下さい。

特別寄稿

院長退任にあたり

特別顧問 水谷正彦



2007年に前身である安房医師会病院に赴任しましたが、病院の委譲という激動の1年を過ごしました。翌年、安房地域医療センターとなり、その2年後の2010年4月に院長に就任しました。西野洋メディカルディレクターと2人3脚で病院を運営してきましたが、何とかやってこられたのは亀田信介理事長のご指導、職員のみなさまのご協力、太陽会、鉄蕉会の職員のみなさまのご尽力あつてのものです。また、医師会の先生方からも多大なご支援を頂きました。この場をお借りし

て御礼申し上げます。

病院理念を「明るい笑顔で、最適な医療を提供いたします」と定め、この理念に向かい舵取りをしてきたつもりです。紆余曲折はありましたが、方向は間違っていなかったと自負しております。

これからは、福内正義院長、下地尚メディカルディレクター体制となり、新しい道を歩んでいくことになりますが、みなさまには変わらぬご協力をお願いいたします。

私は、病院の特別顧問に就任いたしましたので、今しばらくこれまで通り地域医療に力を注いでいきます。また、安房医療福祉専門学校長の併任も仰せつかりましたので、地域の宝となるような看護師の養成にも尽力いたします。もとより微力でございます。これからご支援いただきますようお願いいたします。

トピックス

院内Wi-Fi環境が整いました

当院施設内の本館地下1階から6階でWi-Fiが使えるようになりました。その他のエリア(救急棟の1階救急、2階透析、3階リハビリなど)は対象外です。

設定は、機器付属の取扱説明書もしくは院内掲示物をご参考にして下さい。また、利用の際には、音声やゲーム音などが他の患者さまやご家族の迷惑にならないように注意をお願い致します。

- ネットワーク名 (SSID) : kameda-wifi
- セキュリティ : WPA2
- パスワード : kamedafw

編集
後記

おひさまニュース
バックナンバー

3月31日をもって、水谷正彦前院長が退任され、時を同じくして西野洋メディカルディレクターが退職されました。これまで、当院の発展にご尽力をされた先生方に敬意を表します。おひさまニュースにおいては、企画やご意見、寄稿にご協力いただきました。節目である秋号の顔としての水谷先生、春号では新年度のはじまりにふさわしい、西野先生の未来を見据えたお言

葉を何度かお伝えすることができました。今年も見事に咲いた満開の桜は、温かな先生方のように安房地域医療センターを包みこんでいます。福内新院長のもと、下地メディカルディレクターを迎え新体制となった安房地域医療センターの様々な情報を、これからも発信していけるよう、広報スタッフ一同、気持ちを新たに励んで参ります。



じゅんべりい